

ボランティア・NPO活動センター



IMAGINE ウクライナを知る・考える



～ Imagine all the people Sharing all the world

ウクライナに起きていることを知り、世界を考えよう。

日本とウクライナ、遠い国のように感じている人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。身近なところでは、絵本の「てぶくろ」や「おおきなかぶ」のお話を知っているかと思います。あれはウクライナの民話です。小さな頃にお話を聞きましたよね？また、龍谷大学は、キエフ大学と学生交換協定を結んでいるので、留学生を迎えたり、本学から留学に行ったりという実績もあるのです。

今回のこの危機に対して、「自分たちにできることは何もないのではないか」といった声も聞かれます。私たちに出来ることはたくさんあります。

まずは、ウクライナのことを「知る」から始めましょう。今回は、日本在住ウクライナ人のアナスタシアさんにウクライナの文化や今の現状などについてお話していただきます。

そして、自分たちが市民社会の一員としてどんなことが出来るのか、平和構築のために何が出来るのかについて「考える」ために、関西NGO協会の栗田さんに、今回の戦争に関して市民社会の視点から、NGOがどのような動きをしているのか、主に難民支援の現場の事例をもとに話していただきます。

ぜひ、ご参加ください。

日付・場所

■開催日時

2022年3月31日（木）13：30～16：30

■参加対象

龍谷大学学生（入学予定者含む）及び教職員

■実施方法

オンライン【Zoom】



申込は以下のURLから

<https://forms.gle/oKpqFv4HRwBYoxJK9>



問い合わせ先：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター(深草) TEL075-645-2047

代表メールアドレス E-mail : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

Настя Ковба アナスタシア コウバさん(学生) ＜プロフィール＞

みなさん、こんにちは！ アナスタシア・コウバと申します。
日本では、みんな「ナコ」と呼んでいます。
ウクライナの獣医大学を卒業後、2019年10月に来日しました。
今年の春、京都大学大学院理学研究科を卒業しました。日本が大好きで、北海道大学の博士課程に通学することにしました。
趣味は、絵を描くこと、写真を撮ること、読書、旅行すること、そして言語を勉強することです。COVID-19のパンデミックにより、多くのイベントがキャンセルまたはオンライン形式になったりしましたが、京都の寺院、神社、美術館、自然、食べ物、伝統的な工芸品、芸術を訪れて、伝統的な建築をその2.5年間で本当に楽しんでいました。もっと多くの人にウクライナとその美しさを知ってもらいたいため、「Imagine オンラインでウクライナを知る・考える」に参加することにしました。ウクライナについて話しましょう！



栗田 佳典 くりた よしのり さん

(関西NGO協議会事務局次長／元認定NPO法人テラルネッサンス職員)

＜プロフィール＞



2009年大学卒業とともに、京都の認定NPO法人テラ・ルネッサンスに就職。

広報、経理、スタディツアーや講演など啓発事業を主に担当。

2016年度からは、関西NGO協議会の理事として、1団体でできないことも力を合わせて仕組みを変えたり、つくったり、社会に訴えていく活動にも参加。2021年12月1日からはテラ・ルネッサンスから転籍し、常勤職員として勤務している。

龍谷大学では、「特別講義 国際NGO論」を担当している。

★関西NGO協議会が関係する団体の中でも、複数の団体がウクライナの難民支援などに動き出しています。例えば、NPO法人CODE海外災害援助市民センターは、ウクライナだけでなく、ロシアからの避難民に対しても食糧支援を開始しました。また、認定NPO法人テラ・ルネッサンスは、ウクライナ隣国のハンガリーにスタッフを派遣し、「いのち」と「暮らし」を脅かされている人々の力となるために、ハンガリーに避難しているウクライナ難民への緊急支援を始めました。様々な市民社会が対応を進めるいま、各NGOが何を見て、何を考え、行動をしているのか、複数の団体の現場からのレポートを共有します。



Twitter



Facebook



HP



主催：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター